久遠

書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺
〒460-0007
名古屋市中区新栄1−4−6
Tel &fax 052-241-5231
www.kuonji.net
Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の いま不思議ないのちを生きている！

本年も春のお彼岸を迎えることができました。お中日には平和公園墓地に多数のご同行の参詣のお陰で、先に往かれた人々の教え、又願いに依って、今ある事に感謝するご縁をいただきました。

そもそも、彼岸とは昼と夜の長さが同じになる日であり、仏教ではお釈迦様の中道の教えで、どちらにも偏らない心の在り方、生き方を説くものであります。私たちの生きている世界を『此岸』、仏様がおみえになるお浄土・向こう岸を『彼岸』と呼びます。すでに仏に成られた亡き人々が、私たちに本当の人間とは何であるかを、その人の生き様を通して呼び覚まさして下さるご縁の日であり、生きておいでになった時の思い出を聞かせていただき、感謝するチャンスでもありましょう。

春の彼岸・夏のお盆・秋の彼岸の時節に、日頃から世の流れ・周囲の事柄を自分の思いと都合でしか生きていない者が改めて先に往かれた人の経験や歴史を省みる時としたいものです。現代人は戦後の生活とは異なり、物質的な環境も大きく変化し、豊かになりました。けれども、日々競争社会の中でいつも自分自身の在り方に何か不安を抱えているように感じます。社会も家庭も学校もその不安を答えてくれることはない現状でありますが、その不安を抱えて生きていることこそ何か本当の事を求めている事でありましょう。このような競争社会に行き詰った時、挫折した時こそ、そこを離れた世界の存在がある事を教えられるのではないでしょうか。それは、先に往かれた人々の言葉であり願いでもありましょう。生かされて生きている事の不思議さに目覚めることが、我以外の一切のものを私として生きている私があるのではないでしょうか。

一年前の三月十一日午後二時四十六分を忘れることはできません。全国・全世界の人が共に痛みを共有し、少しずつでありますが、復興と痛みを受け入れる努力がなされています。同時に科学・思想・人間の知識に対してもう一度考える機会を与えられ、未来の子供達へ物質の豊かさでなく、人と人のつながり、人としての存在の尊さ、自然との関わりを伝えていかねばならないと思います。

体罰の問題も、私たちの時代では当然として自分に非があるから」と受けていました。教える側と受ける側の両者の間に、時と場所と相手に対する愛情ある言葉が必要ではないかと思います。また梅原猛さんはこのように述べられてます。

暴力は心の奥にコンプレックスをもつのであろう。しかしそのコンプレックスは自己を奮い立たせ、善い仕事をすることによって解決する事ができるのであり、暴力をふるうことによって、決して晴らすことはできません。」

今年も大雪や季節外れの台風などがありましたが、被災地の一本松を残そうとする人間の優しさ、有情、愛、思いやりで連帯感を持ち続けたいものです。年月が経つとともに風化しないように我が身の事として今後も受けとめたいものであります。

合掌

久遠寺住職　高山元智

法語カレンダーを味わう!!

四月

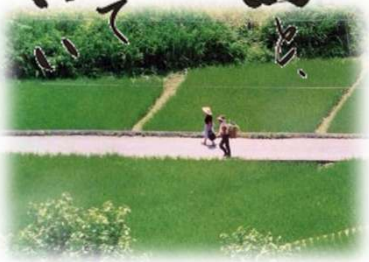
阿弥陀とは、無量光・無量寿を顕す誓いの名であります。

私たち人間が本当に願っていることは何でしょうか。日々心変わりし変化していく願いは人間の理性・思いから起こってきますが、本当のいのちの根源から起きてくる願いを呼び覚まして下さる清浄で純粋な願いに目が覚めた時、自分の思い分別で生きているいのちではなく、私以外の大きなはたらきで生かされていることに感動せねばならないでしょう。

仏教の出発点は、「正見（しょうけん）」にあり己への囚われがゼロになることです。現実を正しく見るいのちと人生をまともに見る教えが仏教の道であります。

『人生の行き詰まりの究極的な揺るがぬ解決にかかわる人生は道なり。道とは自己の責任において歩むものなり。念仏は人生の姿勢をおしえるものである』　金子大栄

五月



金子みすゞさんは26歳で亡くなられたにも関わらず、５００以上の童謡を作られた詩人であり、山口県でお生まれになり、真宗門徒で日々手を合わせる感謝の人であったそうです。

経の中に青色青光、黄色黄光、赤色赤光、白色白光と蓮華は一つ一つが独自の光を放ち輝いて、色は違っているけれども一つ一つが分限を「わしく」生きていることが平等で互いを尊敬し合える世界を表しています。それがまさしくお浄土の世界でありましょう。

鳥は鳥、木は木、動物は動物の範囲でありのままに生きています。この姿を見つめた時、人間はいかに差別の心で生きているかが自然に教えていただけるのでしょう。

六月

大谷派の信國淳氏の「いのちは誰のものか」から抜粋した一節であります。

自分は社会の中でどれくらいの位置にいるのでしょうか。また普通なのか、又愚かなのかはなかなか分かりづらいです。顔は鏡を見れば良い悪いかがすぐにわかります。しかしながら納得しづらいものがあります。すでに自分の生を果たされた人々の言葉に出逢う時、考えれば考える程自分の知識の積み重ねでしかなかったことを知らされます。

仏智に照らされて初めて行き詰った時、方向の定まらない時、仏の智慧によって、人に迷惑をかけ、食べる為に他のいのちを獲り、空気も吸います、」吐きます」と自覚することなく、心臓も停まることなくと動いてくれる事実によって生かされ、本当の願いに目覚めさせようとする根元の願いがあるのでしょう。

仏の大悲にふれた良寛は「大愚（だいぐ）」、親鸞は「愚禿（ぐとく）」と名告り、法然は「愚痴（ぐち）」と名告ったのです。

久遠寺の掲示板

久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に二回ほど更新しております。法語に合わせて当寺住職の味わいをお楽しみ下さい。

家庭
そのものが
日覚めていく
道場
なのである
足利浄圓

久遠寺境内の「木瓜（ボケ」の花々

仏教クイズ

～阿弥陀さまについてのクイズ、あなたはいくつ答えられる？～

一、阿弥陀仏の誓願の数は幾つ？
①二十四 ②一〇八 ③五十四
④四十八 ⑤七十二

二、阿弥陀仏の根本の願いで王本願（ほうほんがん）と呼ばれる願いは何番目？
①第十願 ②第十八願 ③第三十願

三、阿弥陀様の後光の数は幾つ？
①一八本 ②四八本 ③一〇八本

答えはページの左下！幾つ正解しましたか？

長編連載『心の響き』　久遠寺檀家の「貫さん」

成ればこそ、人生楽しく過ごしたいものです。些細なことには目も向けず楽観的に判断し、事に処すれば幕も開かれ、光明も見えてくるでしょう。お互い良い世を送れるのは究極の願いではないでしょうか。誰しも一度は通る若さ。若さは何物にも替えられぬ宝物です。若者には未来があり、目標、希望が持てます。体力、気力、活力で夢に向かって進みます。子孫繁栄、永い人生、光のある道を進みたいものです。老いて尚且つ苦労の無い生活が出来る程、幸せは無いでしょう。

孫達の笑顔の中で古希を迎え、喜寿を迎えて、清からな川の流れの如く穏やかな自然体で人生を送りたいものです。～完～

二河白道（にがびゃくどう）のたとえ」の響え

仏教では私たちの貪欲（とんよく）」瞋恚（しんに）」愚痴（ぐち）」の三毒を喩えて、二河白道の喩えがあります。

それは旅人が西へ向かって歩いて行くと、一本の渡れそうにもない細い道があり、両脇は水の河が、反対には火の河で、さらに背後には盗賊の群れが襲ってくる状況が描かれています。想像以上の恐怖や不安で、その場に立ちすくんだ時、彼の岸（彼岸・浄土世界）からこちらへ渡ってこいよ」との喚び声が聞こえ、後ろを振り向くことなく向こう岸へ渡ることが出来た物語です。

それは自分の思いを超えた世界で、自分自身の思いに縛られたことから解き放されて、すでに渡った人（経験された）の言葉で渡ることが出来、救われたことであります。本意は、彼の岸・浄土はあるかないかではなく、思い捉われ人間本来の純粋なる精神を見失っていることに気付かせるものでありましょう。

自分自身を自分自身に問うても答えはでませんが、常に今の私は何であるかを問い続ける意識を持ち、歴史上の人々の叫びに耳を傾けることが、人間本来の姿に帰らせていただけるのではないでしょうか。

1-④ 2-② 3-②

お彼岸の墓参

お彼岸お中日に平和公園久遠寺墓地へ出張致しました。天気も良く、連休により渋滞するにも関わらず、沢山の方々にお参りいただきました。

蓮の植え替え

昨年3月のご本山から頂戴した『蓮』の初めての植え替え。また咲いてくれるかとの不安と、昨年より多くの花が咲いてほしい期待を胸に蓮根を吟味し、新たに植えました。②写真の蓮根は、今年だけでできたもの。夏の開花の見頃には是非ご来寺下さいね。

月参り便り

毎月にお月参りに伺うと皆様から様々なものを頂戴いたします。いつも本当に有難う御座います。①は伊藤さん作　草餅」。手作りで、とてもおいしかったです。②は中村さん作　箸置」。紙紐製ですが、お洒落で丈夫です。③は、山口さんから二男へ節句のお祝いを頂戴しました。嬉しい限りです！

編集後記

御書（ごしょ）」でご存知ですか？高田派のお勤めの後、最後に拝読する私たちへのお手紙のことです。書いて下さっているのは親鸞聖人、もしくは高田派歴代御法主。親鸞聖人は、生前質問をした弟子たちに対してのお返事のもの、歴代御法主ですと私たち門徒へのお言葉です。ですから、常に私たちへダイレクトに伝えられるお言葉で、実に明快に信心やお念仏のことなどが述べられています。

有難い「御書」の一文、是非お勤めの後にご清聴して見て下さいね。

南无阿弥陀仏
衆徒　髙山信雄

◎　久遠寺ＨＰ＆blogも随時更新中です。是非お時間のある時にご覧ください。
◎　寺報記事も随時募集中です。ご協力お願い致します。
◎　お経本・お念珠は大切なものです。床に直接置かないように気を付けましょう。

今後の予定

4月23日 午後1:30～	5月22日 午後1:30～	6月19日 午後1:30～	7月未定 午後1:30～	8月10日 午前8:00～
真宗入門法話会㉙	真宗入門法話会㉚	真宗入門法話会㉛	真宗入門法話会㉜	歓喜会（お盆）
和讃のこころ	和讃のこころ	和讃のこころ	和讃のこころ	お墓参り
～源空上人②～	～副題未定～	～副題未定～	～副題未定～	
久遠寺本堂	久遠寺本堂	久遠寺本堂	久遠寺本堂	平和公園

是非皆様お揃いで御参詣ください。